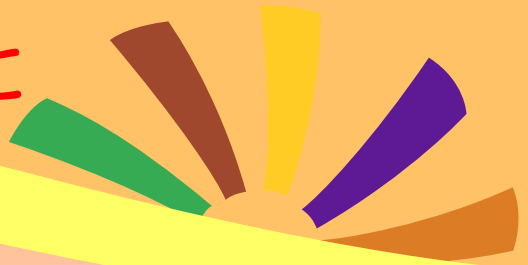


研修会のご案内

つながるまでにできること

～地域ぐるみのひきこもり支援～



～講師プロフィール～

なかがわ たけし

・中川 健史氏

1980年より地域塾を生業としながら、80年代は主に非行少年たち、90年代には不登校の子どもたちと関わり始める。その中で、不登校の子どもたちと親を支える「べんぽすた」の立ち上げに関わり、2008年には、「仕事工房ポポロ」（岐阜市）を設立した。現在、不登校の会「べんぽすた」代表、「仕事工房ポポロ」理事長などを務める。共著に「『若者支援』のこれまでとこれから」かもがわ出版（2016年）がある。

内閣府が行ったひきこもりの実態調査によると、15歳～39歳では54.1万人、40歳～64歳では61.3万人が引きこもり状態であると推計されています。ひきこもりは、どの年齢層にもどの地域の方にもみられ、他人事ではない地域課題となっています。

その課題に私たちが地域で行える事は何かあるでしょうか？

本人たちにはどのような関わり方をすれば良いのでしょうか？

ひきこもりの方と地域を結ぶ取り組みについて、活動実績が豊富な中川健史氏を講師に迎えた研修会を開催します。ぜひご参加ください。

日時：令和5年6月24日（土）

午後1時30分～午後3時30分

会場：各務原市那加福祉センター 集会室
(〒504-0836 各務原市那加雲雀町15)

定員：200名

申込先：各務原市社会福祉協議会 事業課

☎ 058-383-7610

✉ shakyo@chive.ocn.ne.jp



参加申込用QRコード

※ご参加いただける方は上記申込先もしくは左記参加申込用QRコードから事前参加申込をお願い致します。

主催：各務原市社会福祉協議会



この事業には赤い羽根共同募金が使われています。